

令和2年第7回教育委員会議定例会 会議録

1. 開催日時等 令和2年9月4日（金）  
午前9時00分開会 午後3時15分閉会
2. 開催場所 ニセコ町総合体育館会議室
3. 出席委員等 教 育 長 菊 地 博  
1 番 委 員 下 田 伸 一  
2 番 委 員 越 湖 明 美  
3 番 委 員 萬 谷 政 博  
4 番 委 員 大 橋 理 絵
4. 欠席委員 なし
5. 事務局出席者 学校教育課長 前 原 功 治  
町民学習課長 佐 藤 寛 樹  
学校給食センター長 富 永 匡  
幼児センター長 酒 井 葉 子  
学校教育課総務係長 工 藤 亜津子
6. 会議録署名委員 1 番 委 員 下 田 伸 一
7. 議 件  
会議録署名委員の指名について  
協議案第1号 令和3年度（2021年度）当初予算の各学校要望事項について  
教育長の報告  
報告第1号 ニセコ町教育委員会外部評価委員会委員の委嘱について  
報告第2号 令和2年度（2020年度）ニセコ町教育費予算の補正について  
報告第3号 区域外就学の承諾について  
議案第1号 有島記念館運営委員の委嘱について  
議案第2号 教育関係施設等の整備計画について  
議案第3号 令和元年度ニセコ町教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書について

8. 議 事 の 概 要

**教育長:**定刻となりましたので、ただ今から第7回教育委員会議定例会を開催いたします。  
本日の議事日程は、予めお配りした議事日程表のとおりです。

「日程第1 会議録署名委員の指名」を行います。  
会議規則第12条第5項の規定において、「1番 下田委員」を指名いたします。  
次に「日程第2 協議案第1号 令和3年度当初予算の各学校要望事項について」  
を議題といたします。  
事務局から説明をお願いします。

・・・学校教育課長が議案を読み上げ内容説明の後、各学校から予算要望説明・・・

### ① 近藤小学校

**教育長**：「近藤小学校要望事項について」の説明が終わりました。

それでは「近藤小学校要望事項について」の質疑を行ないます。

質疑はありませんか。

**下田委員**：校長先生から冒頭にお話がありました8月の転入生は、いつの時点でわかった  
ことで、どちらから来られた方ですか。

**古田校長**：すべてニセコ町内です。保護者の方から教育委員会を通して、本校に入学させ  
たいという話をいただいたところです。

**下田委員**：今後も不測で増えることがありますか。

**古田校長**：豊里地区に住宅が建設されているという話があったり、定かではありませんが、  
この先も何軒か来るという話も聞いていたりしていますが、今の段階では、来年の  
1年生は6人ということです。

**下田委員**：バスの移動で、町の公用車を利用するという場面は、ハイエースを利用して、  
11人いる学年は2往復ということですか。道交法で子ども3人は2人にカウント  
するということもあるので、そのような柔軟な対応は難しいですか。

**古田校長**：今、乗用車は全席シートベルトが義務化されているので、対応ができないとな  
れば、必然的に席数は足りないということになると思います。

**学校教育係長**：確認します。

**下田委員**：それができなければバスの利用をとということで、そのハードルが高ければ、  
結局課題が解決できずに2回ピストンで時間がかかるということになると思います  
ので、恐らく町内の移動であれば、そんなに長い距離や時間ではないと思いますの  
で、これが遠足や旅行行事だとNGだとは思いますが、そこがどれくらい柔軟に対  
応できるかどうかで違うと思います。バスだけだと予算も難しいと感じました。

**大橋委員**：備品購入の児童用の机と椅子ですが、ニセコ小学校で使っている机や椅子とは  
規格が違いますか。ニセコ小学校の児童が今少し減っているのですが、使っていない分  
を近藤小学校へまわすことはできませんか。

**前田事務職員**：可動式の物を使っているのですが、規格は違います。

**教育長**：来年度学級数の増に伴って教職員も増えると思います。職員室のスペースに1人  
加わることとなりますが大丈夫ですか。教職員の机や椅子も大丈夫ですか。

**古田校長**：現在1台空いている状態で、新採用教員の講師の先生が使っています。来年度  
新採用がなければそのまま使えると思います。ここで言う机等は、教室で使う分  
になります。

**教育長**：今年度よりニセコ小と社会科見学を合同実施にして、来年は宿泊研修もというこ  
とで大変良いことだと思います。5年生の宿泊研修については、来年度からこの先  
も基本的にはニセコ小学校と一緒に考えて良いですか。

**古田校長**：良いです。

教育長：そうなった場合に、来年の5年生は2名で、ニセコ小が42名になりますが、バス代は計上していますか。

古田校長：来年度で計上しますが、ニセコ小学校との合同に移行して行くのであれば、近藤小学校の予算は減ると思います。

教育長：学年によってはニセコ小学校も2学級の学年もありますので、バスも2台になると思います。そこに近藤小学校の子も一緒に乗って、一緒に活動するということですね。

転入生の関係もあって来年度1学級増えるという状況になりますが、その辺りは今後つめる必要があると思います。備品については、新品でない物ということもあるかもしれません。

バスケットボードについてですが、現在、バスケットをやることは多いですか。

古田校長：5、6年生はやります。

教育長：半面というのは、横につけるイメージですか。

古田校長：半面でもコンパクトに試合ができるように、両サイドです。

今年度初めての要望なので、優先順位は高くないです。

越湖委員：遊具のことですが、点検結果がCということですが、どのような状況なのか教えてください。

赤沼教頭：昨年度の点検結果はBで問題はありませんでした。今年度はCになっている箇所があるということです。塗装等がそれ以上浸食していくと最終的に穴が開いて傷んでしまう可能性があるため、修繕が必要ということです。

越湖委員：Cということは塗装がはがれてきているので、塗装をすれば大丈夫という程度ですか。

赤沼教頭：交換ではなく修繕や塗装です。

越湖委員：1年おくともっと進むものですか。

赤沼教頭：もっと悪くなります。

古田校長：雨風でどうしても経年劣化していくものですので、できるだけ早いうちに対応した方が、大掛かりな修繕にはならないと思います。

越湖委員：1年後には更に悪くなる可能性はあるということですね。

古田校長：全国的にも公園から遊具が撤去されている時代で、本校もジャングルジムがあったこともありました。経年劣化で評価がされた関係で撤去されたので、子どもの遊ぶものをできるだけ奪いたくないと思っています。

萬谷委員：物置を外に設置するということですが、役場の新庁舎の建設に伴って不要になったものがあれば再利用できると良いと思います。

古田校長：新品でなくても収納スペースが確保できれば大丈夫です。

教育長：イメージとしてはどの辺に設置ですか。

古田校長：学校の裏の物置の右側です。

教育長：修学旅行の引率教員旅費の入場料は、見学先の関係もあると思いますがどのように使われていますか。

古田校長：函館の五稜郭等です。来年度は本校だけの予算要求ではなく、ニセコ小学校とも絡んでくるものだと思います。

教育長：教員の入場料はかかっているということですね。

古田校長：今まで個人負担だったものを、公費で負担していただければということです。

**教育長**：来年4月1日時点は児童数からいきますと5学級になります。複式学級は5・6年生のみということです。来年の2年生が2人増えた関係もありまして、1・2年は特例措置でそれぞれで2学級、3・4年生も17人で基準を上回っているために単式になります。来年から何年かは40名を超えることになると思います。

**教育長**：ほかに質疑はありませんか。

・・・質疑なしの声・・・

**教育長**：以上で質疑を打ち切ります。

## ② ニセコ中学校

**教育長**：「ニセコ中学校要望事項について」の説明が終わりました。

それでは「ニセコ中学校要望事項について」の質疑を行ないます。

質疑はありませんか。

**下田委員**：暑さ対策で網戸がないところは、開けていない状況ですか。

**午来教頭**：蜂も多くて入ってくるので、安全対策もあって開けていません。2階と3階は午後になるとかなり温度が上がって、特に3階は担任が夜遅くまで窓を開けて、冷やしてから閉めて帰るという状況です。

**下田委員**：継続要望になっていますが、それ以外のところは徐々に整備されているという認識で大丈夫ですか。

**午来教頭**：毎年少しずつではありますが、増えています。

**下田委員**：危険な暑さになるということですか。

**午来教頭**：30度くらいがずっと続いている状況です。

**下田委員**：普通教室は全て扇風機と換気でしのいでいると思いますが、教室の温度はどのくらいですか。

**午来教頭**：教室の温度は28度を前後してしまっていて、扇風機が近い子たちは良いですが、遠い子たちは恩恵を被れないという状況です。風の強い日は換気でも良い感じではあります。

**下田委員**：生徒玄関と職員玄関の新規の部分ですが、職員玄関の増設という点、イメージとしてはニセコ高校のような感じですか。

**午来教頭**：できれば分けるのが望ましいですが、それが難しくてもオートロックは必要かと思えます。

**下田委員**：インターホンの見積もりは出ていましたが、オートロック等の工事の方は特に具体的なものはありますか。

**田村事務職員**：恐らく大規模工事になると思いますので、中学校として業者の見積もりをとるというレベルではありませんので、今回は載せていません。

**下田委員**：教員住宅の件ですが、是非改善した方が良くと思います。

**越湖委員**：折り畳みテーブル等は、新しい物ではなくても大丈夫ですか。

**田村事務職員**：新品、中古に関わらず大丈夫です。

**越湖委員**：役場の方でも探してほしいです。テレビや電化製品は年に2回役場で回収してくれたと思いますが、大型の物は扱っていないですか。机だけの要望で椅子はないですか。

**田村事務職員**：椅子については在庫がありますので調節すれば使えます。机は調節できませんので、台数が必要になります。

**大橋委員**：英検の補助についてですが、英検の受験は必須ですか。

**田村事務職員**：希望者で、3級以上を受験する生徒が対象です。

**大橋委員**：3級以上を受験する生徒に補助をするということですが、1人で何回も使えますか。

**午来教頭**：1つの級に1回で半額補助です。

**大橋委員**：受験する生徒はたくさんいますか。

**午来教頭**：凄く多いと思います。2級や準2級も毎年受験する生徒もいて合格しているの  
で、3級以上の受験者数も多いと思います。

**大橋委員**：補助があるとチャレンジするきっかけにもなると思います。

**教育長**：今年からの制度で、国の方でも中学3年生で3級を目安に取得していきましよう  
ということがある関係で、3級以上を半額補助ということにしています。受験率は  
高いですか。

**午来教頭**：50%弱の受験者数はいると思います。

**教育長**：冷蔵庫とテレビの廃棄についてですが、その後は必要にならないですか。学級数  
が増えても大丈夫ですか。

**田村事務職員**：大丈夫です。

**教育長**：宿泊研修における文化活動については従来劇団四季だったところが、講演がなく  
なったということで、この後の活動のイメージはありますか。

**中村校長**：2年生の宿泊研修は学校行事ということで、教育委員会にも申請をして進めて  
いきますので、来年も実施させていただきたいと思っています。今年は新型コロナ  
ウイルスの関係で、職業体験を札幌市で行う予定でしたが、室蘭市へ行き先を変更  
して実施します。ウポポイは道教委からも紹介がありまして、1年生が日帰りで見  
学旅行に行きます。その辺りを整理して、1年生か2年生のどちらかでウポポイを  
見学するというところで考えているところです。そういった観点から、2年生の行事  
の中で、劇団四季に代わるものがウポポイになると良いと考えています。今後学校  
内で相談して決定したいと思っています。

**教育長**：ウポポイは中学生は入場料はかからなくて、体験のみ有料ですよ。

場所とすれば非常に良い所だと思うので利用させていただきたいですが、申し込みが  
殺到しているようなので、早めの計画化と協議を進めていただきたい。

新聞購読料について新規計上ということですが、利用状況はどのような感じですか。

**中村校長**：新型コロナウイルスの関係で、図書室が8月までは閉じていました。現在、や  
っと図書室の利用が可能になって、新聞についても子ども達が触れ合う機会がある  
ということで、実際には図書室の前に一週間分を閲覧できるようにおいてあります。  
今後いろんな活動を通して、新聞を読むことを子ども達に紹介していきたいと思っ  
ています。休み時間を見ていると、手に取って見ている生徒もいます。全国学力  
学習状況調査の中で「新聞を読みますか？」という調査がありましたが、中学生は  
凄く低い状況になっています。そのようなことから、新聞に触れる機会が少ない  
と思いますので、是非継続して状況を見させていただきたいと考えています。今後、社  
会科の授業や国語の授業でも、新聞を活用するという取り組みを組んでいきたいと  
思っています。

**教育長**：中学生に限らず、若い方も非常に新聞を読む割合も少ないと思いますので、教育  
活動の中で利用していただければと思います。こちらから仕掛けなければいけない

と思いますので、教師側の方からお願いしたいと思います。

**越湖委員**：後志版の方を定期的に見ていただけると嬉しいと思います。

**教育長**：教員住宅も大変古いところもありますので、修繕できるところは今年度中にでも対応していきたいと思います。

中学校も小学校の児童数の増加に伴いまして、予定でいくと令和6年度には全て2学級になります。机や椅子の関係につきましては、計画的に更新していただければと思います。

職員玄関を増設するとなれば、かなり大掛かりになることが予想されますが、オートロックがどの程度の工事で可能なのか確認させていただきたいと思います。

**中村校長**：既に導入されている管内の学校もありますので、可能であればお願いしたいと思います。本当に望ましいのは、衛生管理上、給食も別な場所から入る必要がありますが、改修工事の際に間口が1つになってしまいまして、生徒たちも業者の方も保護者の方も全て同じところを使わなければいけない状況にあります。仮に玄関を増やすのであれば、左右にガラス張りのところがあるのでスペース的にはあります。あとは予算の問題だと思いますので、最低限インターホンとオートロックで、できれば間口が増えた方が、子ども達も防災上逃げなければいけない場合にはあった方が良いので、ご検討いただければと思います。

**教育長**：昔は生徒玄関と職員玄関は別でした。リフォームした時に1つになってしまったということですね。

**下田委員**：LED化はどんな状況ですか。

**田村事務職員**：蛍光器具が老朽化で壊れてしまったところはLEDに変えています。それ以外は進んでいません。現在通常に使用している分については取り換える必要はないと思いますが、今の段階では壊れたところから随時替えています。

**下田委員**：テレビや冷蔵庫、LED化もそうですが、ニセコ町は環境モデル都市ということで、CO2削減も学校運営の中でも環境に良い物を使っていくとか、机も新品でなくてもという柔軟な考え方で良いと思います。町の方で調整していただく必要はありますが、例えば町内の学校間で余っている机を融通するとか、教育備品のやり取りが柔軟にできれば良いと思いました。

**中村校長**：いろいろな教育現場の実践で、卒業するまで自分の机という学校もあります。高さも調節ができる物だと、自分の物は大切にしようという気持ちができる、自分が大切にすれば次の人も大切にしてくれるということで、心を育てることにもなりますので、考えながら進めていきたいと思います。

**教育長**：ほかに質疑はありませんか。

・・・質疑なしの声・・・

**教育長**：以上で質疑を打ち切ります。

### ③ ニセコ高等学校

**教育長**：「ニセコ高等学校要望事項について」の説明が終わりました。

それでは「ニセコ高等学校要望事項について」の質疑を行ないます。

質疑はありませんか。

**下田委員**：校舎外壁タイルは、今にも落ちそうな状況ですか。

**高校教育係長**：タイルをモルタルに接着した後に目地で埋まっているようになっています

ので、目地が全部とれたとしても、すぐには落ちてはこないと思います。ただ、目地がとれるということは、どこかからは裏側に水が流れて劣化していると考えられますので、目に見えないモルタルと接着面がどうなっているかはわかりません。

**下田委員：**構造として、タイルだとこのような状況になることが考えられますので、何らかの対策を講じるのであれば、そこだけコンクリートにする等しないと、またタイルで直しても経年劣化で同じ状態になりかねないと思いました。

**高校教育係長：**同じような方法で直すと、将来的に同じ状態になりますので、タイルは全て撤去して、その後をモルタルで塗って色を塗るということで、他の外壁と同じくモルタル仕上げをするということで見積もりを取っています。

**下田委員：**校長室が非常に暑いということですが、どのような状況ですか。

**清水校長：**昨日も32～33℃ありました。午後から西日が入るので大変です。

**下田委員：**今のところは扇風機1台で対応とのことですが、健康上のこともありますので、対策を講じられたら良いと思います。

入学希望者募集の説明の中で制服の無償給与ということですが、蘭越高校や真狩高校を意識していると思いますが、破損した場合は新たにということですか。

**清水校長：**一着限りです。

**下田委員：**交通費の補助も要望に上がっていると思いますが、負担軽減のための支援で生徒募集をという方針と、実際の冒頭のアンケートの意見との整合性について教えてください。

**清水校長：**同じように辿るかはわかりませんが、私が教頭時代に同じようなことがありまして、二間口のところに9人という経験をしています。その時に同じように制服の改定や交通費の補助等をしてもらった時に、前年度0.1倍の9人だったところが、次年度1.3倍になりました。間口減で40人募集に変わったところもありますが、それにしても53名の受験ということで、注目をひきやすいことと、教育内容を見てもらいやすいということで、PRとしても使えることによって、学校に振り向いてもらえるきっかけにもなりますので、効果はある程度見込めると思います。

**下田委員：**近隣の高校と全く遜色のない条件をというところを整えたいということですが、逆にニセコ高校にあって近隣の高校にないようなことはありますか。

**高校教育係長：**補助についてはほぼ横並びです。全額か半額かということで違いはありますが、やっていることは同じです。

**越湖委員：**観光実習室の間仕切り設置工事ですが、確かに広いと燃料代がかかるので節約にはなると思いますが、コロナウイルスは早急に収束されるわけではないと思えば、更に1年後の要望としても良いかと思います。被服室等のカーテンは定期的に洗濯をしていると思いますが、20年以上経っている物ということで、劣化状態はどのような状況ですか。

**高校教育係長：**観光実習室の間仕切りは、外壁の崩落の危険があるものと比べると優先順位は低いと思います。カーテンは、汚れているというよりは色が抜けている状態で、洗濯をしても状況は変わらないので、交換するしかないと考えています。

**越湖委員：**寄宿舎の清掃の関係ですが、見積書は倶知安の業者へ依頼しているようですが、ニセコ町内でも元地域おこし協力隊の方が清掃の仕事をしているので、そちらにも依頼をしてもらいたいと思います。

電子ピアノですが、ネットワークようていの掲載で見たことがあるので、そちら

も利用しても良いかと思えます。

**高校教育係長：**電子ピアノもですが、体育館や音楽室にあるアップライトピアノはかなり古くて数年後には処分ということもありますので、活用できればと思います。

**武田教頭：**カーテンに関してですが、色合いが斑になっている状態です。衛生的に調理をしたりする場所であることと、体験入学等で中学生や保護者が見る場所でもあるので、早急に改善したいと思い要望しました。

**大橋委員：**要望が多いと感じたので、優先順位をつけた方が良くと思います。

制服は白黒の資料でわかりづらいですが、かなりモデルチェンジした感じですか。

**清水校長：**ジャケットだけは共通でリボンとスカートが3組あります。赤・青・グレー系の組み合わせです。男子もネクタイが3本です。

**大橋委員：**無償給与が凄いことだと思いますし、効果があれば良いと思います。

**高校教育係長：**優先順位の件は、実際に予算を提出する時は整理します。

**大橋委員：**音楽部は何人ですか。

**武田教頭：**1年生3人、3年生1人の計4人です。1年生の生徒から要望があったので、文科系の唯一の部活動ということで、文化的な部分を蔑ろにするということではなく、要望に応えられればと思います。

**大橋委員：**ピアノも選び方で安く手に入ることもあると思います。

**武田教頭：**生徒募集の件ですが、このような目玉政策を出していかないと、現状として中学生がかなり減ってきている状況です。石狩では300人程減りますので、札幌の方から生徒を呼び集める施策はなかなか難しいと考えています。そのような中で、後志管内でニセコ高校の独自の物を打ち出していくということをアピールしていくことによって、どこに行こうか迷っている生徒たちにどうアピールするかということが、今回の戦略の一端です。また、制服で選択するという声も聞いていたので、そこを狙っているのも事実です。昨年の9人から脱却するための方策として、やれることはとにかくやるということを目指していますので、是非ご検討をお願いしたいと思います。

**下田委員：**今の意見は大変重要なことだと思います。補助のことや制服のことは大変重要なことだと思いますが、やはり内容でも選ばれる学校を目指すところが一番大事だと思っていますので、制服のことだけで選ばれるのではモチベーションとしては良くないと思っています、あまり数ばかりということでもないと思いますので、補助制度も教育課程も両輪でと考えています。

**武田教頭：**令和4年度から、高等学校は新教育課程で大きく変化をします。そこに合わせるようなかたちとして、来年度は見える化ということで、見えるところから改善しようと、そして令和4年度に向けて中身を改善していこうというところの段階的な部分で戦略を組み直している状況です。令和4年度、ニセコ高校のカリキュラムは大きく変わります。教育課程の方で、町内からグローバル化を求められているところがありますので、英語の授業に関しては、習熟度別で展開していくことと、観光コースに関しましては、農業高校ですのでどうしても他の科目を5単位までしか増やすことはできないので、5単位分週5時間分を全部英語に振り分けることとし、それでも足りない部分もありますので、観光実践という授業に関しては、英語の教員と商業の教員でクロスカリキュラムということで両方が入ることとし、英語を使いながら観光的な部分をやっていこうという計画をして、段取りを進めているとこ

ろです。農業コースも、ただ単に農業をやるということではなくて、有機栽培が令和4年から栽培できる分からスタートできるようになります。有機JAS認証取得には3年かかりまして、化学肥料と化学農薬を使わないで3年経過しないと有機JASに登録することすらできませんので、今段取りを進めている状況です。地域ニーズとして、安心安全のニーズは高いので、そのような物を地域のレストランやホテル等地域の方々と一緒に考えながら、いろんなかたちのニーズがある物をニセコ高校の圃場で作れるような段取りを進めているところです。観光とはいえ、食がなければ観光は成立しませんので、食と観光のすべてを学べる学校としてアピールしていくために、まず一度学校を目立たせる要因が重要になってきますので、段階的にやっているところもご理解いただきたいと思います。

**萬谷委員：**先輩後輩という繋がりの部分も高校に惹かれる要素かと思しますので、部活も連携すればもっと繋がっていくのではないかと思います。

**清水校長：**今年は、農業の授業と中学校の授業で枝豆の栽培をしています。密になれないのでオンラインで栽培を共同で行っています。本当は体育の授業等も合同であれば良いと思いますが、今は集まらないという状況がいろいろな場面で障害になっているところもあります。

**教育長：**音楽部の1年生はこのような状況の中では発表の場はなかったようですが、今後ある程度許されるようになれば、中学生は人数がいて、あそぶっく祭りや七夕の夕べの時にステージで発表する場があるので、普段から合同活動をしてそのような時にコラボをして発表するというのが将来的にできれば、結びつきが強くなると思います。

**清水校長：**今年の1年生は9人で少ないという話が出ていますが、内6人がニセコ中学校出身で、他の学年よりもニセコ中学校出身者が割合としては高くなっているの、このまま続くと良いと思っています。

**教育長：**今後学校の行き来が可能になれば一番良いですが、今年はリモートでの取り組みをする中で、いろいろな活動報告を中学校と連携して、ライブでなくても良いのでリモートで流す等、いろんな可能性を考えていただければと思います。

来年4年生に進級する生徒が非常に多いということで、仮に農業コースの生徒も海外研修をしたいということになれば当然予算も増えることになりますが、先生の現場派遣も、両方ということになりますか。

**高校教育係長：**なります。

**教育長：**機械関係の整備等は年度計画に応じて進めてください。

**大橋委員：**ホームページが新しくなって良いと思いますので、興味を持っている子たちはチェックすると思います。更新を活発に行っていただいて、常にいろんなことがされているということが伝われば良いと思います。

**清水校長：**制服のお披露目は10月9～10日の1日体験入学の時にを行います。

**大橋委員：**その時の様子もホームページに掲載されると良いと思います。

**武田教頭：**ホームページを作ってもらった業者の方では、動画を載せようということで、制服のお披露目をファッション系の専門学校に依頼をして、ファッションショー形式で行います。それを短縮版の動画にして配信するというので、タイムラグはどうしてもできてしまいますが、動きが見えるようにしたいと考えています。

**大橋委員：**ツイッターやインスタグラムは連動されていますか。

武田教頭：ツイッターやInstagramはやっていませんが、ブログで日々更新をしています。

大橋委員：そちらも良く見られていると思うので、間口を広げるという意味では、ご検討いただければと思います。

教育長：新しいホームページを見て、非常に整理されていると思ったのと、スタートのページにインパクトがもう少し出てくれば良いと思います。見やすい印象は受けました。

清水校長：学校の活性化を考えると、一定数の生徒がいないとどうしても淋しくなってしまうので、生徒募集は大事なポイントの一つでもあります。もちろん、学校の教育内容を充実させるのも大事ですが、ニセコ高校を知ってもらわないと選んでもらえないので、まずはいろんな注目を集めて、これから生徒を集めて活気のあるニセコ高校づくりを行い、ニセコ町も活性化できるような人材が育てられるように頑張っていきたいと思います。

教育長：ほかに質疑はありませんか。

・・・質疑なしの声・・・

教育長：以上で質疑を打ち切ります。

教育長：これより1時間休憩とします。12時50分より再開いたします。

#### ④ ニセコ小学校

教育長：「ニセコ小学校要望事項について」の説明が終わりました。

それでは「ニセコ小学校要望事項について」の質疑を行ないます。

質疑はありませんか。

下田委員：お湯の水栓の増設ですが、イメージはどのような感じですか。

桑原事務職員：現在は、家庭科室はお湯の出る蛇口になっていますが、事前にセットをしておかなければお湯が出ない状況です。そういったものではなく、蛇口をひねるとすぐにお湯が出るというイメージです。

下田委員：熱源は灯油ですか。

桑原事務職員：学校は灯油です。

下田委員：灯油でボイラーにお湯をためて、それを全部のフロアに配管して混合栓で出すというイメージですか。

桑原事務職員：全フロアとなると、現在のボイラーの能力もあると思いますので、場合によっては増設ということもあるかもしれません。

下田委員：トイレに設置するシャワーは簡易的なということですが、どのようなイメージですか。

桑原事務職員：嘔吐の場合もありますが、下半身等汚れた部分を洗ったりすることもありますので、完全なユニットバスのような個室になったシャワー室ではなくて、簡易的にシャワーで体を洗い流せるようなところです。

下田委員：特別トイレの手洗い場でお湯が出るとして、ホースを引いてお湯が出ればということですか。

桑原事務職員：洗い流せれば良いのと、例えば洗い場をカーテンで仕切る等簡易的な物をイメージしています。

下田委員：校庭の遊具の痛みは調べていますか。

桑原事務職員：鉄棒は今年の春に直していただきました。

澤田教頭：春に業者の点検が入っていますが、異常なしと報告を受けています。

下田委員：暑さ対策で、窓を開ける時の、網戸の設置状況はいかがですか。

桑原事務職員：春に全ての窓に入っています。

越湖委員：しっぽ取りゲームに使う道具は、ニセコ町の放課後子ども教室にあって、現時点では使っていないので、ニセコ小学校で使っていただいで問題はないと思います。イベントの時に使う程度であれば、学校で使っていただいた方が良いでしょう。

教育長：希望しているものと実物がどうかを確認してもらった方が良いでしょう。

越湖委員：もしも使う時に、逆に学校から借りる方が良いでしょう。

教育長：どのような場面で使いますか。

澤田教頭：体育の授業で、タグラグビーに使います。接触をしないので、コロナ禍でも有効な競技ですし、学習指導要領にもタグラグビーは載っていて、低学年から高学年まで全学年ができる競技です。

教育長：昨年、スポーツ推進委員が行った夕方スポーツクラブで、後半何度かタグラグビーを行いました。中学校にラグビーの先生がいるので講師になっていただきまして実施をしたところ、低学年の児童も参加していました。

大橋委員：電話回線の関係で、ニセコ小学校は朝の電話がつながりにくいイメージがあるので、優先順位は中になっていますが上げて良いでしょう。学芸会でマウスガードを使うとのことでしたが、予算には反映されていますか。

澤田教頭：マウスガードは今年度使用するので、既にお願ひしています。もし使ってみて、使い勝手が良ければ、授業にも使えるかもしれないので有効かと思ひます。

教育長：お湯の関係で、見積もりを出してみないと金額もわかりませんが、本格的にやるとすれば配管も含めて大掛かりになると思ひます。今期はどのように対応しますか。

増川校長：今期は水のままだと思ひます。子どもが洗っているところに、大人の目を見て指導をしなければいけないと思ひています。

澤田教頭：節約のために廊下の暖房を抑えめにしていましたが、校内全体を暖かくする方法しかないと思ひます。

増川校長：アルコールに弱い児童もいるので、基本的には石鹼の手洗いを推奨しています。

教育長：ニセコ町教育研究会事業とニセコ町教育研究活動推進事業がありますが、いわゆる町教研はニセコ町教育研究会事業のことですか。

桑原事務職員：ニセコ町教育研究活動推進事業は、ニセコ町独自の研究に関わる補助金で、小中学校3校の研究に関わる補助金を、当番校のニセコ小学校が今年度と来年度取りまとめをしているということです。

教育長：来年の1年生は2クラスで児童数も増えますが、空き教室の利用はどのような状況ですか。

澤田教頭：6年生が2つに分かれて授業を行っているので、有効に教室を使っています。

教育長：来年度はどのように考えますか。

澤田教頭：コロナの状況にもよりますが、来年は今の4年生が39名なので、大ホールを出ることになると2つに分けて授業をするような状況が増えると思ひます。ただ、人の問題等もありますので、状況に応じて考えていくこととなります。

教育長：机や椅子の不足は大丈夫ですか。在庫数等確認してください。

教育長：ほかに質疑はありませんか。

・・・質疑なしの声・・・

教育長：以上で質疑を打ち切ります。

「日程第2 協議案第1号 令和3年度当初予算の各学校要望事項について」の協議を終わります。

休憩 午後1時25分

開会 午後1時35分

教育長：「日程第3 教育長の報告」について私から説明いたします。

・・・教育長から教育長の報告について説明・・・

教育長：「教育長の報告」の説明が終わりました。

それでは、質疑を行いません。質疑はありませんか。

・・・質疑なしの声・・・

教育長：以上で報告済みといたします。

教育長：「日程第4 報告第1号 ニセコ町教育委員会外部評価委員会委員の委嘱について」を議題といたします。説明をお願いします。

・・・学校教育課長が議案を読み上げ、内容説明・・・

教育長：「報告第1号」の説明が終わりました。

それでは、質疑を行います。質疑はありませんか。

・・・(質疑なしの声)・・・

教育長：以上で報告済みといたします。

教育長：「日程第5 報告第2号 令和2年度ニセコ町教育費予算の補正について」を議題といたします。説明をお願いします。

・・・学校教育課長が議案を読み上げ、各課長等内容説明・・・

教育長：「報告第2号」の説明が終わりました。

それでは、質疑を行います。質疑はありませんか。

・・・(質疑なしの声)・・・

教育長：以上で報告済みといたします。

教育長：「日程第6 報告第3号 区域外就学の承諾について」は、個人情報の取り扱いに関わることであることから、今回の教育委員会議での議事を「秘密会」とすることを発議いたします。本件について、討論を行います。

反対、または賛成の討論はありますか。

・・・(討論なしの声)・・・

それでは、採決いたします。

「日程第6 報告第3号 区域外就学の承諾について」は、「秘密会」とすることにご異議ありませんか。

・・・(異議なしの声)・・・

異議なしと認めます。

よって、ニセコ町教育委員会会議規則第5条の規定により、「日程第6 報告第3号 区域外就学の承諾について」は、「秘密会」とすることに決しました。

・・・秘密会審議・・・

教育長：これで、「秘密会」の議事は終わりましたので、これよりの議事は公開とします。

教育長：「日程第7 議案第1号 有島記念館運営委員の委嘱について」を議題といたします。事務局から提案理由の説明をお願いします。

・・・町民学習課長が議案を読み上げ、内容説明・・・

教育長：「議案第1号」の提案理由の説明が終わりました。

それでは、質疑を行います。

質疑はありませんか。

・・・(質疑なしの声)・・・

教育長：以上で質疑を打ち切ります。

「日程第7 議案第1号 有島記念館運営委員の委嘱について」は、提案のとおりとすることに異議ございませんか。

・・・(異議なしの声)・・・

教育長：異議なしと認め、「議案第1号」は、原案のとおり決しました。

教育長：「日程第8 議案第2号 教育関係施設等の整備計画について」を議題といたします。

事務局から提案理由の説明をお願いします。

・・・町民学習課長が議案を読み上げ、内容説明・・・

教育長：「議案第2号」の提案理由の説明が終わりました。

それでは、質疑を行います。

質疑はありませんか。

越湖委員：図書消毒機のことですが、時間はどのくらいで消毒できますか。

町民学習課長：30秒から1分くらいです。

越湖委員：設置場所はどのあたりですか。

町民学習課長：予定しているのは、正面玄関から入って斜めのカウンターのところの手前を考えています。

越湖委員：返却された本を職員が消毒する感じですか。

町民学習課長：今は職員が手で消毒していますが、まずは自己管理ではなく、スタッフ管理とすることで、6冊が同時に消毒することができます。

近隣では京極町の湧学館や、共和町の生涯学習センターで、ニセコ町も入れると全道で35か所が導入・導入予定となっています。

越湖委員：返却された本のみに対応ですか。

町民学習課長：返却された本を消毒することも目的ですが、館内で閲覧する時に、自分で

消毒機にかけて見るということや、自分で消毒をして帰るということも考えています。

教育長：ほかに質疑はありませんか。

・・・(質疑なしの声)・・・

教育長：以上で質疑を打ち切ります。

「日程第8 議案第2号 教育関係施設等の整備計画について」は、提案のとおりとすることに異議ございませんか。

・・・(異議なしの声)・・・

教育長：異議なしと認め、「議案第2号」は、原案のとおり決しました。

教育長：「日程第9 議案第3号 令和元年度ニセコ町教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書について」を議題といたします。

事務局から提案理由の説明をお願いします。

・・・学校教育課長が議案を読み上げ、内容説明・・・

教育長：「議案第3号」の提案理由の説明が終わりました。

それでは、質疑を行います。

質疑はありませんか。

・・・(質疑なしの声)・・・

教育長：以上で質疑を打ち切ります。

「日程第9 議案第3号 令和元年度ニセコ町教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書について」は、提案のとおりとすることに異議ございませんか。

・・・(異議なしの声)・・・

教育長：異議なしと認め、「議案第3号」は、原案のとおり決しました。

教育長：「日程第10 その他、説明・協議事項」についてです。

何かございますか。

・町民学習課長：文化まつりについて、全町9人制バレーボール大会について、地域おこし協力隊の配置について

教育長：質疑はありませんか。

越湖委員：作品については受賞された方だけの展示ということですが、一生懸命書いてくれた方の思いを考えると、期間を分けて展示することはできませんか。

町民学習課長：今まで2階の研修室で全作品を展示していましたが、町民センターの部屋を借りた場合、定員の問題や検温、手指消毒などの手続きが必要になります。職員の張り付きも必要になりますので、例えばロビーに設置をすると、今後町民センター入口に自動検温器が設置されるという話もあるので、フリーな空間で見ていただくということになると当然スペースの問題もありますので、作品も絞らざるを得ないと思います。

越湖委員：例年どおりの展示期間と考えるとそうなってしまいますが、例えば一週間刻みで分けて展示することはできませんか。

町民学習課長：協議しながら進めます。

教育長：発表会は全て中止ですか。

町民学習課長：声掛けはしましたが、文化協会として統一してはどうかということになりました。高齢者の方も多いので、対応が難しいということもありました。

・学校教育課長：近藤小学校の教室増築について

教育長：当初の予定では、令和4年から5学級になることを想定していましたが、児童数が増えて令和3年から5学級になる見込みです。あくまでも令和4年に向けての工事ですが、令和3年に向けて今の音楽室を教室として使えるようにして、2階に4つ、1階に1つの教室ができて、5学級にするということになります。ただし、音楽室がなくなりますので、音楽室を外に増築するというのが保護者の意向ということになりますが、それがベストなのか、外に増築するのを普通教室にして、音楽室はそのままにするのが良いのか、最終的なつめはこれからです。保護者の要望は北側は音楽室にしてもらいたいということでした。来年の4月に間に合うようにということで、最低限のことしかできませんが、5学級を確保するというところです。当面の間音楽室はないので、音楽は教室でやってもらうしかないと思います。今年に入って2月と先日と課長も入って具体的な話をしていますので、概ね保護者の方々とは共有しながら、ある程度納得のうえで進んでいる話だと思っています。話し合いの中には、地域の代表の方も来ていますので、地域の見方からということで意見もいただいていますので、話し合いとしてはそこに向けて進んでいると思います。

越湖委員：音楽室ということは、防音設備付きですか。

教育長：今の校舎にある音楽室は防音設備がありますから音楽室として適するものですが、中に教室をとという意見がありまして、そうすると外に作るのは防音設備のある教室ということになります。

越湖委員：教室で音楽の授業をすることで、隣の教室に音が漏れるということにはなりませんか。

教育長：北側に音楽室ができたとしたら、教室は2階の南側になりますし、今までも上と下で音楽をしていましたので、防音の設備さえ整っていれば問題ないかと思います。

越湖委員：来年度はどうなりますか。

教育長：地域の方も理解いただいていますので、我慢していただくしかないと思います。体育館を使う等、工夫もできるかと思っています。

・教育長：ニセコ高校について

越湖委員：実際に公営住宅の空きは確保できますか。

教育長：教育委員会としても、確保することも考えなければいけないと思います。

越湖委員：公営住宅でなくても、近辺で下宿のような場所もありますか。

教育長：今現在下宿される方の情報は把握していませんが、仮に下宿業をするという方がいればありがたいと思います。実際に下宿を申し込むかはわかりませんが。

越湖委員：いろんなパターンで受け入れられるということですね。

教育長：通学と寮ばかりで考えるのではなく、いろいろな生活スタイルがあって、高校生には寮生であっても自立したスタイルを考えていければと思っています。実際に札幌から通っている寮生については、週末に札幌に戻ったらコンビニでアルバイトをしているようなので、それはこれからの生きるスタイルであって、企業からしても

高校生の力は非常に大きな力になります。今現在のニセコ高校にあっては許されていないので、寮のあり方そのものも考えていく必要があるかと思います。

**下田委員：**ニセコ高校の話し合いについては、コロナの関係もあってやや中断気味ではないですが、教頭先生も変わって体制も変わられて、以前教育委員と先生たちと話し合いもしましたが、学校側の意見と実際に生徒のアンケートも取られているという話もあったので、そこをうまく整理して、それぞれの思いはあるかと思いますが、実際にどのような方向で進めていくのが課題だと思います。住居スタイルであったり、アルバイトをしたい生徒がいれば認めていこうというような、多様性を認めていこうということがキーワードになっていまして、そこを実行に結び付けていくことが途切れているような気がしています。

**教育長：**完全にストップしているわけではなくて、こちらの方針を伝えながら意見交換をしていくということと、子供たちの声をということと、近いうちに大学生との関わりも考えています。

**学校教育課長：**現在打ち合わせ中ですが、寮の関係のニーズ調査ではないですが、実際に子供たちの生活スタイルがどのようになっているのかということ調査して、その中でライフスタイルのポイントを絞り込んで、それに沿ってワーキングのようなことができれば、子供たちが満足できる寮のスタイルのヒントが作れないだろうかということで、北大の建築の方の協力を得て模索をしているところです。

**教育長：**できれば方向性を含めた中で、ワークショップをしたいと思います。

教育課程については、ある程度具体的に高校とは話をしているので、それに対するサポートは、令和4年から考えていかなければいけません。英語と観光を合わせたグローバルな科目も取り入れていくということですが、そうすると英語の先生が1人では足りなくなるので補充をしてもらいたいというあたりを、町としてもお願いしたいということで、今後検討しなければいけないと思います。

**下田委員：**振興対策会議のような会議はないですか。

**教育長：**振興対策会議はいろんな支援について話をする場なので、立場によって考え方が違って、なかなか共通点が見いだせないというところが課題となってしまいました。こちらとしては、教育委員会の中で方針を定めて、それを町へ提案していくもので、提案していく中に高校の意見を無視するわけにはいきませんので、高校の意見も聞きながら生徒にもワークショップで意見を聞きながら今後進めていくということです。企業にアンケートをとったということのようなので、そのあたりも大事な資料になるのではないかと思います。

**下田委員：**この場が公式な話し合いを進めていく場だとしたら、教育委員会議の中でもその他の話し合いの中での案件になるので、わかりやすく進められればと思います。

**教育長：**みなさんにとって、進む方向がはっきり見えるようにできればと思います。

**教育長：**その他連絡事項等ございませんか。

・・・(教育長から今後の日程の説明)・・・

**教育長：**この際ですので、各委員から何かございませんか。

・・・(なしの声)・・・

**教育長：**ないようですので、以上で、第7回教育委員会議定例会を終了いたします。ご苦労様でした。